

伊勢崎上空にオスプレイが連日飛来！ 市長に、米軍・政府への抗議と対応申し入れ



五目牛町上空を飛ぶ
オスプレイ(読者提供)

横田基地へのオスプレイ正式配備(10月1日)前から、市議会には頻繁に目撃情報が寄せられています。

伊勢崎上空は米軍機の訓練コースで、これまでも低空飛行訓練に多くの市民が苦情や不安を寄せてきました。このコースが今度は、オスプレイの訓練にも使われます。横田基地配備は空軍機で、戦闘捜索救難と特殊部隊の輸送任務を担う特殊作戦機であり、事故率が非常に高くなっています。

党市議団は、9月26日、市長に「米空軍CV-22オスプレイの飛行訓練中止要請を求める要望書」を提出。伊勢崎上空での飛行訓練の中止や情報公開を米軍に通告し、実態を調査するように申し入れました。はせだ直之県政対策委員長が、同席しました。

強まる徴税攻勢

真っ赤な封筒で差押さえの脅し

税滞納での差し押さえが目立つのが、預金や給与などの債権差し押さえです。10年前には326件だったのですが、昨年度は2194件と激増しています。

昨年度は、学資保険を解約して返戻金を差し押さえたり、住んでいる家を競売したりという事例も、発生しました。その上、今年度からは、人目を引く真っ赤な封筒で差し押さえをちらつかせ、脅かすようになりました。人権侵害ともいえます。

昨年、党市議団が視察した滋賀県野洲市では、税の滞納があつて役所に相談に訪れた市民の困難な状況を丸ごと受け止め、心に寄り添って生活を支援する姿勢を貫いています。生活再建型の納税相談こそ、求められています。

ところが、伊勢崎市は野洲市と比べると、「取ればよい」という姿勢が目立ち、大問題です。

市民の「困った」を解決する道筋を示せず、取り立て最優先では、本末転倒です。



差し押さえると脅す赤い封筒

議会エピソード 13

9月議会の決算審議では昨年度の仕事ぶりを見直し問題点を明らかにし、今後の財政運営に生かします。

昨年度は、新しい学校給食センター建設の為に3億5千万円の国庫補助を、申請時期を逸してもらい損ねることとなりました。結局、補正予算を組んで合併特別債を借り、補助無しで作ることになりました。議案上程前の議会運営委員会では一言も説明が無く、党議員団が委員会で質疑して、やっと顛末が語られました。

ところが、昨年の議会でも今年の決算審議でもこの問題を取り上げてただしたのは、なぜか党議員団だけ…。これまで、数万円の予算についてでも必要性を確認し、「借金するな」「民間委託せよ」などと声を上げてきた中堅議員の方々が、この問題ではなぜ一言も追求めないのでしょうか？不思議でたまりません。(K)



北島 元雄

24-8410
090-4065-2120
波志江町3626



長谷田 公子

25-1130
070-5564-6271
八幡町44